

Contents


- Enjoy! Arts & Entertainment
- 01 陶酔と興奮の舞台！
バレエに魅せられて
- 05 WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く
大通寺 長浜市
- 06 Recommended Files 今月のオススメ
菜園レストラン 近江野菜の台所 大津市
- KEIBUN友の会会員特典のご案内
- 07 イベント／シネマ／アート／スポーツ／ゴルフ／
旅行／レジャー／健康／カルチャー／グルメ
- 25 プレゼント／Reader's Letters

●表紙【Amazing! Museum～感動空間への招待⑧】
大英博物館（イギリス）

古今東西の美術品や書籍、考古学的な遺物や標本、工芸品、世界各地の民族誌資料など約800万点を収蔵する世界最大の博物館のひとつ。常設展示だけでも一日で全て見ることはほぼ不可能。入場無料なので何度も足を運びたい。

History of Ballet **イタリアからヨーロッパに拡大した華麗なるバレエの軌跡**

ルネサンス期、イタリアの王侯貴族の社交界の余興としてバレエの原型が誕生。フィレンツェのメディチ家からカテリーナ妃がフランス王室に興入れの際、バレエはフランスに輸入され宮廷で大人気に。ルイ14世の時代には宮廷から劇場へ、バレエは国家的芸術に発展する。19世紀初頭に爪先立ちのポワントテクニックが開発され、ロマン主義の潮流にのり「ロマンティックバレエ」が台頭。その後、フランスからロシアに招かれた振付家マリウス・プティパが「クラシックバレエ」の様式を確立する。



～感性を磨く、感動を見つける～
Enjoy!
Arts & Entertainment

ほんの少しの好奇心と最初の一歩を踏み出す勇気—
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

陶酔と興奮の舞台!!

バレエに
魅せられて

バレエはダンスだけでなく、音楽、美術、衣裳などが一体となった総合芸術だ。なかでも研ぎ澄まされた美しい身体で感情の機微を表現するパフォーマンスが、観るもの的心を強く揺さぶる。たとえストーリーがわからなくても、舞台上で練り上げられる踊りの純粋な美しさに陶酔し、高度なテクニックの連続に興奮させられる。生の舞台でしか味わえないバレエの感動をあなたにも—。



マリインスキーバレエ「白鳥の湖」より ©N.Razina
男女デュエットで踊るパドドゥや主役の後ろで踊るコールドバレエ(群舞)など、
バレエの舞台は見せ場がいっぱい!!

この秋、注目のバレエ公演

新国立劇場バレエ団
こどものためのバレエ劇場「シンデレラ」
4837 9月26日(土) 14:00開演
●びわ湖ホール 大ホール
●大人3,000円 子ども(4歳~中学生)2,000円
●音楽:セルゲイ・プロコフィエフ
●監修:牧 阿佐美
●振付:小倉佐知子



新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「シンデレラ」より ©瀬戸秀美

誰もが知っている童話をもとにした、家族一緒に楽しめるバレエ。かわいらしい舞台装置と、分かりやすい語り口で「バレエ鑑賞デビュー」にぴったり。日本屈指のダンサーたちによる本格的な演技で、大人にも見ごたえあり!

マリンスキー・バレエ「白鳥の湖」(全3幕)

4839 11月23日(月・祝) 15:00開演
●びわ湖ホール 大ホール
●S席16,000円 A席13,000円
B席10,000円 C席8,000円
●音楽:P.I.チャイコフスキー
●振付:マリウス・プティパ、レフ・イワノフ
●改訂振付:コンスタンチン・セルゲエフ
●予定キャスト:オクサーナ・スコリック
ザンダー・バリツシュ
※7月15日現在、正式発表は公演当日。
●管弦楽:マリンスキー劇場管弦楽団

ロシアが世界に誇る由緒あるバレエ団が6年ぶりにびわ湖ホールへ。3大バレエのひとつ「白鳥の湖」をお届けします。



©瀬戸秀美

レジェンドから新鋭へ
旬のダンサーを見逃すな!!

同じバレエ作品でもダンサーによってまったく違った印象を与えるものだ。20世紀を代表するダンサー、マーゴ・フォンティーンや彼女とペアを組んだドルフ・ヌレエフ、先ごろ亡くなったマイヤ・プリセツカヤなどはまさに伝説的なダンサー。ジョルジュ・ドロンやミハイル・バリシニコフらは映画でも一世を風靡。彼らの踊りは一流のダンサーだけが持っているオーラを放っていた。バレエ鑑賞は鉱石の発掘で観た人は何と幸運だろう。バレエ鑑賞は鉱石の発掘に似ている。この夏の世界バレエフェスティバル出演予定メンバーなら、ブリマではオレリー・デュボン、ディアナ・ヴィニョワ、アリーナ・コジョカル、男性ダンサーならマニュエル・ルグリ、ウラジーミル・マラーホフ、ダニール・シムキンなど注目してみたい。舞台では思わぬダイヤモンドにめぐり逢うかもしれない。

Step1
今年バレエが熱い
ダンサーの華麗な技を
ひと目観れば
あなたもファンに

今年バレエファンにとってプレミアムな夏! 3年に一度東京で開催される「世界バレエフェスティバル」は、いわばバレエのオリンピック。団体や国の枠を超えて、新鋭からベテランまで世界の旬のダンサーが集結する。一方、日本バレエ界のトップスター熊川哲也が芸術監督を務めるオーチャードホール(東京)では、世界で活躍する日本人ダンサーを紹介する「オーチャード・バレエ・ガラ」(Japanese Dancers)が開かれる。近年、国際コンクールで入賞を果たす日本人ダンサーは数多い。海外の主要カンパニーで研鑽を積む彼らが日本の舞台に立つ貴重な機会だ。

バレエといえは物語にメルヘンチックなイメージがあり、よく知らない人にとっては遠い世界、特に男性には敬遠されがち。でも、世界のトップダンサーの華麗な技をひと目観ればきつと納得できるはず。踊りやマイムと呼ばれる身振り、ダンサーたちの豊かな表情で繰り広げられるストーリーに、あなたも引き込まれてしまふことは間違いない。直感的に「すごい!」「きれい!」と感じて、ミラーに楽しむことから始めよう!!

アティテュード/アラバスク

片足で立ち、もう一方の足をまげて曲線で魅せるのがアティテュード(写真)。足を後にまっすぐ伸ばしたポーズがアラバスク。いずれもバレエの中で美しいポーズといわれている。「白鳥の湖」でオデットが白鳥を描写するポーズが有名だ。

Step2
進化するパフォーマンス
クラシックバレエと
斬新なモダンバレエ
好みを見つけよう!!

バレエと一口に言っても、伝統的な様式美を重んじるクラシックバレエから、形式にとられず人間の身体を駆使して独自の世界を創造するモダンバレエまで、その表現は多彩だ。古典と呼ばれる全幕バレエでも改訂が重ねられ、新解釈による斬新な演出・振付の作品もある。

クラシックバレエの古典作品をじっくり観るなら、まずチャイコフスキー作曲の三

マックスのコーダで最高に盛り上がる。もうひとつ見逃せないのがコールド・バレエ(群舞)だ。「ジゼル」「白鳥の湖」「ラ・バヤデー」など白い衣裳による群舞は「バレエ・ブラン(白いバレエ)」と称され美しい。呼吸のタイミング、体の角度、手を下ろすタイミングなどすべてが揃って、その一体感、美しさはまさに幻想的で思わず息をするのも忘れてしまうほど。脇役ではない、このコールド・バレエこそがバレエ鑑賞の醍醐味なのだ!!

さらに20世紀の先進的な振付家の作品をみるのも面白い。脱プティパを指したミハイル・フォーキンが「瀨死の白鳥」を振付。また、天才ダンサーと謳われたヴァーツラフ・ニジンスキーが振付した「牧神の午後」は跳躍も回転もないセンセーショナルな作品で話題となった。さらに、バレエを最上級のエンタテイン

夢の総合芸術!
知れば知るほど
バレエはおもしろい



チュチュ

オーガンジーやチュールを重ねて作られたスカート状の衣裳。「ラ・シルフィード」という作品でマリイ・タリオーニがロマンティック・チュチュと呼ばれる膝丈のスカートを着用して以来、女性ダンサーの定番の衣裳となった。写真は足を美しく見せるクラシック・チュチュ。

トゥシューズ

ポワントと呼ばれる爪先立ちのポーズのために履くシューズ。先端は平らになっていて、特別な糊で固められている。このシューズを履くのは女性ダンサーだけ。

マリンスキー・バレエ「白鳥の湖」を踊るオクサーナ・スコリック(オデット)
©N.Razina

Step3
公演に出かけよう
生オケ付き全幕ものか
名場面ばかりの
ガラコンサートか

いよいよ劇場デビューへ!! チケットは少々高くつくが、ぜひ海外の有名カンパニーの公演を見てほしい。日本にも本格的なバレエを上演できる劇場が増え、世界トップレベルのダンスと生のオーケストラ演奏、そしてゴージャスな衣裳と装置、本場の優れた舞台芸術が間近に堪能できる。最初は誰もが知っている名作「白鳥の湖」など古典の全幕ものをたっぷり味わうのもいいし、名場面のパ・ドゥや小品を集めたガラ公演ならヒギナーも退屈せずに楽しめるだろう。もちろん近年は日本のバレエ団もレベルが上がり見応えは十分!! 連続回転などダンサーの高度な技や、コールド・バレエの美しさに感動したら素直に拍手をしよう。クラシックの演奏会のように劇場の雰囲気を読み、節度をもって。カーテンコールの時間がたっぷり用意されているので、その時は惜しみない拍手をおくろう。

劇場を出たら、食事をしたり、お酒でも飲みながら、舞台の話でゆっくり余韻を楽しもう。感動的なバレエ鑑賞の一日を大切な思い出の日にするために。

大バレエ「白鳥の湖」*「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」がおすすすめ。これらの作品を生み出したのが11月にびわ湖ホールで公演を控えるロシアのマリンスキー・バレエだ。これらの振付をしたマリウス・プティパは、バレエの父と称され、クラシックバレエの様式を確立した人物。王道ともいえるべきオーソドックスなバレエをたっぷり堪能できる。

見どころは、何と言ってもグラン・パ・ド・ドゥ。主役の男女2人が優雅に踊るアダージオから始まる。男女1人ずつ踊るヴァリエーションでは、男性はダイナミックな跳躍、女性は華麗なポワントテクニックで観客を魅了。そして、クライ

*「白鳥の湖」は1877年、ボリショイ劇場で初演された振付のヴェンツェル・ライジンガー版が不評で、その後、台本が改訂され、1895年にプティパ/イワノフ振付でマリンスキー劇場にて蘇演。

陶酔と興奮の舞台!! バレエに魅せられて



草津市出身。6歳より下田春美バレエ教室でバレエを始める。17歳でイングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクール入学。2010年ローザンヌ国際バレエコンクールでセミファイナリストに。11年イングリッシュ・ナショナル・バレエ入団。13年バレエ団の注目すべき新人を選出するEmerging Dancer Competitionにノミネート。14年ファーストアーティストに昇進。15年8月「オーチャード・バレエ・ガラ〜JAPANESE DANCERS〜」出演。

イングリッシュ・ナショナル・バレエ
 ファースト・アーティスト

Emerging Dancer

猿橋賢

世界的トップダンサー熊川哲也が手がける公演「オーチャード・バレエ・ガラ〜Japanese Dancers〜」に、海外で活躍する次世代の日本人ダンサーが集結する。イングリッシュ・ナショナル・バレエ(ENB)で著しい成長をみせる草津市出身の猿橋賢さんもその一人だ。

「17歳で留学してからは一度も日本の舞台で踊っていないので、自分がどのようなダンサーなのか、日本の皆さまに披露するのが本当に楽しみです。今回踊る『海賊』のランケデムは何度

も踊ったことがある役なので、お客さまに楽しんでいただけるよう全力でがんばります」

猿橋さんの原点は草津市の下田春美バレエ教室。6歳の時、姉の通うバレエ教室の発表会で、同じ歳の男の子たちが剣を持って踊る姿を見てあこがれ、バレエを始めたという。

「春美先生には演技の大切さを学びました。発表会で『ヘンゼルとグレーテル』のスカンク役を踊った時、先生のユーモアたっぷりの振付とおならの効果音が相まって、踊っている自分もすぐ

自分の踊りを通して多くの人に
 バレエの魅力を伝えていきたい

く楽しかった。この演技を見た後に先生は僕が海外で活躍できるダンサーになれると確信したと言ってくれました」

イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクールに入学後、ENB入団を果たし、昨年ファースト・アーティストに昇進。

「ENBは優れたダンサーがたくさんいる、世界的に見てもレベルの高いバレエ団です。公演数が多く、重要な役を踊らせていただく機会もたくさんあり、自分のがんばりや成長を認めてくれるカンパニーです」

猿橋さんに海外飛翔の夢を芽生えさせたバレエの魅力とは何だろうか。

「バレエは、美しい曲にのせてさらびやかな衣裳をまとったダンサーたちが夢の世界へ誘う、まさに芸術です。私もダンサーとして一人でも多くのお客さまにバレエの魅力を伝え、夢の世界を経験していただきたいという思いでステージに臨んでいます。踊り終えた後、お客さまからの温かい拍手や歓声をいただき、お客さまに喜んでいただくことが私にとっての最高の幸せです」

※1 作品に登場する奴隷商人の男。1幕のグラン・パド・ドゥが見せ場。※2 ダンサーのポジションで、ゴールド・バレエからソリスト、プリンシパルの役までこなす。

Information

未来のダンサー、湖国から翔く

第1回びわ湖・洋舞コンクール in もりやま

2015年10月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝)

■会場/守山市民ホール大ホール

■入場料/1,000円(自由席・予選・決勝共)

【部門】バレエシューズ(小学4年生までの女子・男子)、小学生(女子・男子)、中学生(女子・男子)、高校生・シニア(高校生以上の女子・男子)、アンサンブル(2名以上のグループ)

【参加申込締切】2015年8月10日

【参加料】20,000円(決勝エントリー料3,000円)

■お問い合わせ/びわ湖・洋舞コンクール事務局 TEL・FAX:077-582-8580

詳細はHP参照 <http://b-ballet.com/>

Japan Ballet Competition 滋賀2016

2016年2月7日(日)

■会場/大津市民会館大ホール

■入場料/前売2,000円 当日2,500円(自由席)

【部門】クラシックバレエ(5歳~小1男女、小2・3男女、小4・5女性、小6・中1女性、中2・3女性、高1・2女性、高3以上女性、小4~中2男性、中3以上男性)、モダンダンス(4歳~小6男女、中1~高3男女、一般男女)、アンサンブル(2名以上のグループ)

【参加申込締切】2016年1月7日

■お問い合わせ/Japan Ballet Competition事務局 TEL:052-446-7554

詳細はHP参照 <http://jbcex.jp/>